

報道関係各位

2021年1月15日

株式会社つぼ市製茶本舗がKURADASHIに出品 賞味期限切迫商品などを販売することでフードロスを削減

社会貢献型ショッピングサイト「KURADASHI」を運営する株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：関藤竜也）は、株式会社つぼ市製茶本舗が「KURADASHI」に出品開始したことをお知らせいたします。同社は、賞味期限切迫商品などをKURADASHIに出品することで、フードロスを削減します。

“もったいない”を価値へ



クラダシは「もったいないを価値へ」をモットーに、賞味期限の切迫や季節商品、パッケージの汚れやキズ、自然災害による被害などの要因で、消費可能でありながら通常の流通ルートでの販売が困難な商品を買取り、社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」で販売することでフードロスの削減に取り組んでいます。

今回、株式会社つぼ市製茶本舗が「KURADASHI」に出品を開始いたしました。同社は、日本の本物のお茶の良さを地域に寄り添いながら紹介し、また持続可能なお茶の飲み方やその歴史を茶育として啓蒙する活動を積極的に行っています。また、SDGsへの取り組みとして、こども食堂への参加や環境に配慮した有機商品の開発を行っており、今回、賞味期限切迫商品などを「KURADASHI」に出品することで、フードロスを削減します。

株式会社つぼ市製茶本舗の商品

<https://www.kuradashi.jp/products/detail/51918>

2015年9月にSDGsが発足し、「2030年までに世界の食料廃棄を半減する」目標が掲げられ、日本では2019年10月に食品ロス削減法案が施行されました。また、2020年10月に菅首相が所信表明演説で「2050年カーボンニュートラル*」を宣言し、環境投資のために2兆円の基金を創設すると表明しました。フードロスによって排出される温室効果ガスは全体の8%といわれており、フードロス削減に対する社会的ニーズが益々高まっています。

まだ食べられるのに通常のルートでの販売ができない食品を「KURADASHI」で販売することで、食品メーカーは廃棄コストを減らすことができ、サステナビリティの観点からブランドイメージの向上につながります。

▼KURADASHIへ商品を出品したい方はこちら

<https://www.kuradashi.jp/sell>

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当：小山 pr@kuradashi.jp

*カーボンニュートラル：温室効果ガス排出量を実質ゼロとする目標

今後も、ソーシャルグッドカンパニーとして社会課題の解決を目的とした社会性、環境性、経済性に優れた活動を続け、日本で最もフードロス削減する会社を目指してまいります。

■社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」について

KURADASHI (<https://www.kuradashi.jp/>) は、フードロス削減への賛同メーカーより協賛価格で提供を受けた商品を最大97%OFFで消費者（会員）へ販売し、売り上げの一部を社会貢献活動団体へと寄付する日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォームです。環境保護や動物保護の団体、新たに設立したKURADASHI基金など、全19団体を支援しています。

- ・ 2017年：「ソーシャルプロダクツ・アワード2017」優秀賞
- ・ 2018年：東京都環境局「チームもったいない」の「Saving Food」部門代表に抜擢
- ・ 2018年：環境省主催「第6回グッドライフアワード」環境大臣賞
- ・ 2019年：品川区「社会貢献製品支援事業」選定・認定
- ・ 2020年：第7回「食品産業もったいない大賞」審査委員会委員長賞
- ・ 2020年：「環境白書」「消費者白書」に掲載
- ・ 2020年：第3回「日本サービス大賞」農林水産大臣賞
- ・ 2020年：令和2年度「気候変動アクション環境大臣表彰」
- ・ 2020年：第21回「グリーン購入大賞」農林水産大臣賞
- ・ 2020年：第55回「社会貢献者表彰」

三方良しの エコサイクル



■会社概要

社名：株式会社クラdash

代表者氏名：関藤竜也

設立：2014年7月

本社所在地：〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

事業内容：社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI」の運営

URL：<https://www.kuradashi-mottainai.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当：小山 pr@kuradashi.jp